

2013年度 ぱれっと新体制に向けて

～人事異動のお知らせと、担当者からのご挨拶～

●2013年度を迎えるにあたり

ぱれっとはこの30年の間、その時代の障害のある人のニーズに即した選択肢の幅を広げてきました。昨今、彼らを取り巻く法律や制度が変わり、我々サービス提供者や支援者側の質が問われる時代となりました。ぱれっとと事業活動の実践経験に更に社会変化に対する鋭敏さと応用力が必要とされます。今ぱれっとに問われているものはスタッフの専門性とサービスの質です。

組織自体にも変革が求められています。それぞれのセクションがどういった課題を抱えているのか、何を優先的に解決しなくてはならないのか。現状を分析し強み・弱みを精査する能力と先の見通し、経営の見直しと組織力強化には思い切った取り組みが必要です。

昨年12月にレストラン事業を終了し、店長南山達郎が法人事務局長としてこの4月から就任します。事務局長を担っていた菅原睦子は4月からえびす・ぱれっととホーム施設長に着任します。おかし屋ぱれっとは、副所長という肩書きで長澤美佳を所長後任に位置づけます。この4月から障害者総合支援法下の施設(就労継続支援B型)に移行します。定員20名規模で、障害の重い方も受け入れていきます。通所員の高齢化対策として第2工房をスタートさせます。その責任者に三浦枝里子を指名しました。「組織力の強化と地域との連携」が優先課題と捉えています。イノベーションの鍵はこの組織変革にあると信じ、ぱれっとにかかわる全ての人の動機付けとなり、事業そのものに成果が期待できる改革を行なってまいります。

理事長 相馬宏昭

新事務局長 南山達郎

昨年12月、22年間店長を務めてまいりました「スリランカ料理&BEER Palette」を閉店しました。改めまして、多くの皆様にご愛顧頂きましたこと、心より御礼申し上げます。そしてこの度相馬理事長のもと、ぱれっとの事業全体の統括「事務局長」の任に就き、今までとは全く違う立場でこれからのぱれっとに関わっていくこととなりました。それに伴い大変残念ながらカレーの製造は終了となりますが、私自身はボランティアとしての関わりから数えて28年、この重要な転換期に要のポジションに就けることを大変誇りに思っています。レストラン事業の中で培ったネットワークも活かしながら、まずは足元の各事業をしっかりと固め、全体をまとめて今後のビジョンを描く作業を行なっていきます。現代は、色々な課題が複雑に絡み合う世の中になり、私たちのようなNPOが地域で果たすべき役割は大変重要になってきました。障害者福祉という切り口から、より暮らしやすい地域社会を作るために、理事、スタッフ、親の会の皆様、当事者、ボランティア、と共に歩んで行こうと思っております。

生活支援事業 新施設長 菅原睦子

「えびす・ぱれっとホーム」の設立当初から関わり、誰よりも障害者本人に向き合い、人間味溢れる支援で障害者本人を支えてきた施設長三森紀子の退任が5月に決まり、その任を引き継ぎ新施設長としてこの4月より着任いたします。

事務局長として着任したのが5年前。理事長と連携しながら、NPOを組織的に運営するためのイロハを学んできました。この経験とリーダーとしての意識は、ぱれっとのスタッフ一人ひとりに、とても必要なスキルだと改めて感じています。

今後は、ぱれっとの暮らしの現場を通して、スタッフ・利用者・現場に関わる様々な人たちとの連携で社会に発信していきます。現状として、今の日本では障害者の暮らしの選択肢は少なく、欧米に比べ遅れているといえます。障害の有無にかかわらず、誰もが自分らしく安心して暮らす権利とチャンスがあることを軸に、ぱれっととしてどう取り組めるのか。久しぶりの現場復帰に、思いを巡らせています。

おかし屋ぱれっと 職員 長澤美佳

この度、おかし屋ぱれっとの副所長に就任することとなりました。このような大役を頂き、とても身の引き締まる思いであります。皆様もご存知のとおり、4月よりおかし屋ぱれっとは大きな節目を迎えます。法内化に伴い就労継続支援B型へ移行することで体制も大きく変わり、新たな通所員も加わります。正直、不安な部分もありますが、一方で気持ちを一新、改めてみんなで自分たちの職場を作り、盛り上げていくことへの楽しみや期待感もあります。私自身、おかし屋ぱれっとで働き始め7年になります。まだまだ日々勉強中の身ですが、今後は今まで培ってきた経験を活かし全体をサポートする立場として、職場の環境作り、さらには精神面においても一人一人を支えていけるよう心がけていきます。そして、誰にとっても悩みを相談しやすい、気軽に声がかけやすい存在でありたいと思います。今後も皆様のご協力とご支援を頂きながら、頑張ってお参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

おかし屋ぱれっと 職員 三浦枝里子

4月よりおかし屋ぱれっと第2工房の責任者となります。昨年の30周年、理事長交代、さらに今回は大きな人事異動とぱれっとの組織は大きく変わっていきます。まずは、現場第一に考えこれからも職員、通所員と共に一緒に仕事をしていきたいと思っています。第2工房では高齢化対策と今までにはなかった障害の重いの方の受け入れをします。現在のおかし屋ぱれっととは仕事内容、支援方法が変わってきます。しかし、今までと変わらず「仕事の間」である事は変わりません。仕事への意識はもちろん、作業を通して支援方法も理解できるように工夫したいと思っています。また、今回の異動はとても意味のある事だと思っています。仕事をしていく中でスキルアップをする事も目標としています。しかし、まだまだ力不足な部分は多く、職員を始め沢山の方のご指導や支えを受けながら出来る限りの力を尽くし頑張りたいと思っています。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。